社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年10月22日

計画の名称	朝日町下水道施設のストックマネジメント及び地震による災害対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	朝日町												
計画の目標	ストックマネジメント計画による下水道施設の機能維持・向上の実施及び予測される大規模地震などによる被害の増大に対し、下水道地震総合対策計画に基づく対策を実施し、安心・安全な住民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	57	A	57	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	・ストックマネジメント計画における重要幹線管渠（汚水）の点検・調査結果により実施方針（改築・更新計画）の策定を行う。（100%）			
	重要幹線管渠（汚水）における改築・更新計画策定率（%）	0%	100%	100%
2	・下水道地震総合対策計画における重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施率0%(R2)から100%(R4)に増加させる。			
	重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施率（%） 重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施延長（km）　／　耐震診断が必要な重要幹線管渠（汚水）延長（km）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000781166

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	ＳＭ計画関連事業（計画・設計）（A07-001）	改築・更新計画策定等	朝日町		■	■			11		策定済
	A07-002	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	朝日町下水道総合地震対策事業（調査・設計）（A07-003）	耐震診断調査等	朝日町	■	■				19		策定済
	A07-003	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（雨水）	新設	効率的な事業実施のための計画検討（A07-005）	基本的な計画検討・計画作成	朝日町	■	■	■	■	■	23		―
	A07-004	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（雨水）	新設	下水道情報デジタル化事業(A07-006)	下水道台帳電子化等	朝日町				■	■	0		未策定
	A07-005	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	ＳＭ計画関連事業（点検・調査）（A07-007）	下水道施設点検・調査	朝日町					■	4		策定済
											小計						57		
											合計						57		

案件番号： 0000781166

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
朝日町上下水道課において事後評価を実施。	令和8年10月
	公表の方法
	朝日町ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ストックマネジメント計画における重要幹線管渠（汚水）の調査結果に基づき、改築・更新計画を策定したことで、後続の長寿命化工事の実施に向けた準備が進んだ。 ・朝日町下水道総合地震対策計画に基づき、対策対象箇所の詳細診断を全数実施したことで、耐震化対策が必要な箇所の精査及び今後の耐震化対策の推進に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・効率的な事業実施のための計画検討により、上位計画や関係法令との整合を図るとともに、事業の優先順位を設定し、適正な事業実施に寄与した。 ・ストックマネジメント計画における重要幹線管渠（汚水）の点検を実施したことで、下水道施設の適切な維持管理に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

令和2年度から令和6年度までの5年間で、社会資本総合整備計画（防災・安全）に基づく下水道事業を実施し、ストックマネジメント計画に基づく改築・更新計画の策定及び下水道総合地震対策計画に基づく耐震詳細診断の実施により、いずれの定量的指標も目標を達成した。
今後も、適切な時期にストックマネジメント計画の見直し及び点検・調査を実施するとともに、その結果を下水道台帳に反映し、下水道施設の健全性の維持及び効率的な事業の実施を図り、安心・安全なまちづくりに取り組む。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①ストックマネジメント計画における重要幹線管渠（汚水）の改築・更新計画の策定（%）		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
2	指標②下水道地震総合対策計画に基づく重要幹線管渠（汚水）の耐震診断実施率（%）		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	

案件番号：0000781166